

平成 30 年度事業報告

I 一般事項

1 会員の動向

年度当初 148 名であった会員数は、その後 4 名の異動があり、平成 31 年 3 月末現在で 148 名である。

	会員の動向			単位:名	
	30 年 4 月 1 日	入会	退会	31 年 3 月 31 日	増・減(△)
特別会員	34			34	
通常会員	114	2	2	114	
合計	148	2	2	148	

2 通常総会

平成 30 年 4 月 20 日、旭川グランドホテルにおいて開催し、次の議案について原案どおり可決・承認された。

(1) 会員の出席状況

単位:名、%

会員総数	出席者数			出席率
	本人出席	委任状出席	合計	
148	21	97	118	79

(2) 議案

ア 報告事項

平成 29 年度事業報告について

イ 審議事項

第 1 号議案 平成 29 年度計算書類及び財産目録の承認について

第 2 号議案 役員の一部改選について

第 3 号議案 役員の報酬額について

第 4 号議案 会費の額について

ウ その他

平成 30 年度事業計画及び収支予算について

3 理事会

(1) 第 1 回理事会

平成 30 年 4 月 20 日、理事 9 名の出席のもと、旭川グランドホテルで開催し、次の議案について原案どおり可決・承認された。

議案

ア 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び収支決算の承認について

イ 第 2 号議案 平成 30 年度通常総会議案について

(3) 第2回理事会

平成31年2月15日、理事11名の出席のもと、マルウンホールで開催し、次の事項について報告・協議し、一部修正の上、可決・承認した。

(1) 報告事項

- ア 平成30年度事業計画の実行状況
- イ 平成30年度収支予算の執行状況について
- ウ 平成30年度会員企業支援事業に係る選定結果について

(2) 協議事項

- ア 第1号議案 入・退会者の承認について
- イ 第2号議案 平成31年度事業計画及び収支予算の決定について
- ウ 第3号議案 職員服務規程の改正について
- エ 第4号議案 給与規定の改正について
- オ 第5号議案 旅費規程の改正について

(3) その他

- ア 役員の改選について
- イ 総会記念講演について

4 監査

平成31年4月11日、監事による平成30年度監査が行われた。

II 事業実施状況

1 林産技術普及事業

(1) 木材利用に関する相談事業

事業体や一般市民からの道産材を利用した住宅建設、内装材及び木材の利用に関する相談に応えるとともに、研究機関や取扱事業体を紹介した。

(2) イベントの開催

ア 講演会の開催

4月20日(金)、「総会記念講演」を開催した(旭川グランドホテル)。

講師 株式会社サンポップ 専務取締役 松野 宏 氏

演題 木材業界とSC業界の連携戦略を探る

聴講者 63名

概要 ウッディエイジ2018年9月号で紹介

イ 「木のグランドフェア」事業

「木のグランドフェア」事業については開催内容が見直され、「木になるフェスティバル」を林産試験場と共催した。

開催日 7月21日(土)

来場者 716名

内容 普及協会 2件 ・葉っぱのスタンプ
・木工クラフト, 木っ端, 木チップ, 飲み物販売

林産試験場 13件

ウ 「森林・建築セミナー」事業

当初計画していた小学生を対象とする「木工作ひろば」及び「木を知って楽しむ見学会」の代替事業として、北海道内の建築系の大学生を対象に、林業、林産業、木造建築（川上～川中～川下）に関する研修を行うことを目的とするセミナーを共催した。

開催日 11月30日(金)～12月1日(土)

開催地 森町、函館市、北斗市、八雲町

参加者 26名（北海学園大学、室蘭工業大学、北海道大学）

主催者 北海道森林建築セミナー実行委員会

共催者 （一社）北海道林産技術普及協会、北海道木材産業協同組合連合会
北海道森林組合連合会、（一社）北海道建築技術協会

概要 ウッディエイジ2019年3月号で紹介

エ 見学会

第1期工事が終了し、当麻町産材を用いて建設された当麻町役場庁舎の見学会を実施した。

開催日 6月7日(木)

参加者 18名

概要 ウッディエイジ2018年7月号で紹介

(3) 会誌、図書の発行事業

会誌「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を月刊発行(776～787号)し、会員内外へ配布した。また、試験研究機関、大学、事業体、一般の方へ会誌及び木材乾燥等の技術資料を頒布した。

(4) ホームページの活用

ホームページでイベントや講習会開催等の情報提供を行った。

2 その他事業

(1) 展示品維持管理事業

林産試験場から「木と暮らしの情報館」に係る「展示品維持管理業務」を受託した。

(2) きのこ栽培試験管理事業

林産試験場から「きのこ栽培試験管理業務」を受託した。

(3) 講習事業

ア 木材乾燥習会

(公社)日本木材加工技術協会北海道支部と共催した。

開催日 平成30年10月4日(木)～5日(金) 2日間

会場 林産試験場講堂

受講者 11名

イ 林産技術セミナー

林産試験場と共催した。

内容：キノコと鹿肉の美味しい関係

～道産キノコとエゾシカ肉の需要拡大を目指して～

開催日 1 平成 31 年 2 月 18 日(月)

会場 かでる 2・7 (札幌市)

参加人数 52 名

開催日 2 平成 31 年 3 月 22 日(金)

会場 林産試験場講堂

参加人数 34 名

(4) 連携事業

地域材の利用拡大を目的とした「上川地域水平連携協議会」の事務局として活動した。

ア 北海道庁が公募した、平成 30 年度道産建築材供給力強化対策事業（地域提案モデル実証事業）委託業務のうち、「地域関係者の連携による製材の品質向上や供給体制強化を図るためのモデル実証」に応募・採択され、事業を実施した。

イ 第 69 回日本木材学会大会（函館大会）期間中に実施された公開シンポジウム「北海道のトドマツを知ろう」での発表および展示を分担した。

開催日 シンポジウム 2019 年 3 月 15 日(金)

展示 2019 年 3 月 14(木)～15 日(金)

開催場所 函館アリーナ

発表内容 道内企業による トドマツの利活用の取り組み

発表者 齋藤 光久（上川地域水平連携協議会）

展示内容 パンフレットの配布、試作椅子の展示

(5) 木材製品販売等事業

道内の木材木製品製造業者から木工工作キット等を購入し、イベント等で販売した。

(6) 会員企業支援事業

林産試験場に対する依頼試験、設備使用等を実施した会員に、所用経費の 1/2 を助成した。

(7) その他

協会役員が外部委員の委嘱を受けている下記委員会から試験を受託し、その他事業収入を得た。

- ・木質材料の難燃薬剤処理方法に関する JIS 原案作成委員会
- ・平成 30 年度林野庁委託事業「大径材原木を活かす高機能建築材料の研究・開発」